

船舶事故等調査報告書

平成23年1月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神第86号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年3月29日 14時00分ごろ	
発生場所	和歌山県串本町動鳴気漁港内 串本町古座川口灯台から真方位102°600m付近 (概位 北緯33°30.8′ 東経135°50.1′)	
事故等調査の経過	平成22年5月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 引船 ^{はんえい} 繁栄丸、14トン 260-36344 大阪、株式会社繁栄工業</p> <p>B 土運船 KD121 22.0m×7.0m×1.8m、鋼</p>	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	A プロペラ翼（3枚）の先端に曲損 B なし	
事故等の経過	<p>A船は、船長が1人で乗り組み、貨物倉にほぼ一杯の土砂を積み込んだB船をえい航しながら、動鳴気漁港内を移動中、B船が、岩場に向かって流されるようになり、平成22年3月29日14時00分ごろ、A船の船尾船底付近に衝撃を受けたので、船長が主機を手動で停止した。</p> <p>B船は、船底の一部が岩場付近の暗礁に乗り揚げて停止した。</p> <p>その後、A船は、機関の運転に僅かな振動を伴うものの、運航が可能であったことから、B船を引き下ろしたのちえい航を再開した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 4～5、視界 良好</p> <p>海象：平穏（港内）、潮汐 上げ潮の中央期</p>	
その他の事項	<p>A船の喫水は、船首約0.5m、船尾約1.6mであった。</p> <p>B船の喫水は、船首及び船尾ともに1.4～1.5mであった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>A船は、B船をえい航して動鳴気漁港内を移動中、岩場に向けて圧流され、両船が同岩場に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、A船が、B船をえい航して動鳴気漁港内を移動中、岩場に向けて圧流されたため、両船が同岩場に乗り揚げたことにより発生したのと考えられる。</p>	